

【まちづくり分野】

1. コンパクト+ネットワーク

自治体名	取組テーマ案
札幌市	<p>まちづくり・産業振興のための土地利用のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地の範囲を現状の市街化区域とすることを基本としたうえで、住宅地においては、日常的な生活利便施設が立地し、都心や地域交流拠点では、多くの人々が利用する公共施設や商業・医療機能などの集積を図るほか、それらをつなぐバスネットワークの維持・改善や公共交通機関の乗り継ぎのしやすさの確保。 ・工業用地については、人材確保が厳しい昨今の状況から、交通アクセス等の諸条件が整っている用地への企業ニーズが高まっており、土地利用の観点からどのような対応ができるか検討。
相模原市	<p>持続可能なコンパクトなまちづくりと、コミュニティの交流を支える交通ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通渋滞に伴う時間損失や環境への影響など社会的損失の解消に向けた取組 ・鉄道路線の混雑緩和や利便性・速達性の向上に向けた取組 ・道路、鉄道、バス等による空港アクセスの強化策 ・地域コミュニティの維持、活性化の取組
北九州市	<p>人口減少・超高齢化に対応した、都市基盤整備をはじめとする魅力あるまちづくりのあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策を複合的に推進できる方策の検討(生活利便性の高い地域への居住誘導、真に必要な公共施設の適正配置による都市の再構築、公共交通ネットワーク維持・存続)
岡山市	<p>産業振興・まちづくりのための土地利用のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域の農用地等の取扱い ・公共交通を軸としたまちづくり

2. 対流拠点の構築

自治体名	取組テーマ案
さいたま市	<p>対流拠点の構築に向けたまちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組の推進にあたっての連携体制の構築について <p>※対流拠点：新たな国土形成計画にて「大宮」が東日本のネットワークの結節点として連携・交流機能の集積・強化を図るとともに、災害時のバックアップ拠点機能の強化が位置付けられた。</p>

3. 歴史的資源をいかした観光客の誘致

自治体名	取組テーマ案
名古屋市	<p>歴史的町並みの保存と観光資源としての活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の歴史的町並み保存への啓発 ・観光客誘致につながる、全国的な認知度向上のための取り組み <p>※東海道沿いに全国的にも貴重な歴史的町並みが残る有松地区については、重要伝統的建造物群保存地区に選定される見込みである。</p>

4. 民間活力をいかしたまちづくり

自治体名	取組テーマ案
福岡市	<p>まちづくりにおける民間企業や市民等の積極的な参加について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間投資の効果的な誘導策について(インセンティブ, 規制緩和) ・エリアマネジメント団体の継続的な活動を支える自主財源確保について